

AsiaNet 49302

☆共 JBN 外0639 (産業、環境) (12・5・15)

【産業担当デスク殿】49302

◎ゲーム参加で環境問題解決促進を ゲーム・チェンジ・リオを発表

【ワシントン (米国)、チューリヒ (スイス)、フランクフルト (ドイツ) 15日 PRN=共同 JBN】今週、一味違ったゲームが発表される。プレイヤーは、これまで利用できなかった現実世界データに基づいて進むべき道を選ぶことによって、世界を破壊する、それとも地球を救うことになる。このフェイスブック・ゲームの目的は、6月に開催される「国連持続可能な開発会議 (リオ+20)」が単に話し合うではなく行動をすることを求めて、人々を結集することにある。

「ゲーム・チェンジ・リオ (Game Change Rio)」は、地球が現在直面している複雑な問題に関与するうってつけの方法を提供する。このゲームの主唱者の一人で1995年に世界食糧賞 (World Food Prize) の受賞者であるハンス・ヘレン氏は「より多くの人々が環境を取り巻く問題を理解すれば、流れを変える可能性が生まれる」と語っている。

約20年前、環境と開発に関する国連会議、地球サミットがブラジルのリオデジャネイロで開かれ、地球の将来に警鐘を鳴らした。それ以来ほとんど何も変わっておらず、その結果として、リオ+20がこの世界的怠慢を打破し、変化を起こすために開催されることになった。しかしこのフォローアップ・サミットは多くの既得権益の壁にぶつかっており、市民からの強力な圧力だけが事態打開の希望として残っている。

ヘレン氏は「われわれは、これまでのチャンネルでは働き掛けることができなかった人々に環境関連のメッセージを届けるため、『ゲーム・チェンジ・リオ』を開発した」と述べている。このゲームを世界に大いに広げるため、ゲームは英語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語でプレーできるようになっている。最高点の達成者にはリオ・サミットへの招待旅行が待っており、1週間ごとの優勝者にも賞品が用意されている。

ゲーム・チェンジ・リオでは、これまで専門家や政策決定者だけに提供されていた実世界のデータを利用できる。国連環境計画 (UNEP) 委嘱によるミレニアムインスティテュートのグリーン・エコノミー・モデル (Green Economy Model) に基づくこのゲームには、世界経済のすべての関連するセクターと利用可能な天然資源が含まれている。これらすべての要素は相互に関連しており、政策が与える影響が極めて複雑なことが分かる。このモ

デルには5000を超える指標があり、このゲームでは125の政策カードが開発されていて、ゲームは1億を超える異なった結果が出るようになっている。

ゲーム・チェンジ・リオは、ビオビジョン環境開発財団 (Biovision – Foundation for ecological Development)、コードサステイナブル (CodeSustainable)、ミレニアムインスティテュートのアイデアで制作され、将来の世代がこの地球で生活を楽しめるようにするために対応が必要な問題に関心を高め、われわれが直面する問題の解決策を提案することを目的としている。

ゲームのプレー方法や詳細、インタビュー申し込み、写真などは以下のサイトを参照。

<http://www.gamechangerio.org/media>

(了)